

## 本時のねらい

3人称単数現在形を使って他者について紹介する文章を作成し、発表する。

## 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

1人1台のタブレットPCを活用して物事・人物について調べ、自ら得た情報をまとめて活用する力（情報活用能力）を養う。  
プレゼンテーションソフト（Google スライド）を用いて発表内容スライドを作成することで、リスニングが苦手な生徒にも、視覚情報も併せて理解を促す。

## 活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・プロジェクター
- ・翻訳ソフト
- ・授業支援ソフト（Google Classroom）
- ・プレゼンテーションソフト（Google スライド）

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○これまで学習した文法事項を確認し、英文を言えるようにする。	・スライドでは写真や絵などを用いて、視覚的に理解できるようにする。 ・生徒にテンプレートを配付する。
展開 (40分)	○前時までに調べた内容をもとに個人でスライドにまとめる。  ○まとめたスライドに合わせて発表の練習をする。 ・作成したスクリプトをもとに、スライドをみて、発表の練習をする。  ○完成した生徒から、Google スライドを用いて全体に発表をする。	・インターネットで自分が発表する内容のイラストや絵などを調べ、活用する。 ・事前に見本のスライドを作成し、情報活用のためのヒントを示しておく。  ・発表者以外のスライドも Google Classroom を用いて、後日生徒が内容を確認することができる。  ・プロジェクターを用いてスライドを映し出し、全体に共有する。
まとめ (5分)	○他者の発表を聞いて参考になったことや、今後、自分に生かせることを個人でまとめる。	

## 1人1台端末を活用した活動の様子



写真1 個人でスライドを作成している場面



写真2 タブレットPCを用いて、参考資料を検索している場面



写真3 作成したスライドを、プロジェクターを用いて黒板に映しだし、全体に向けて発表を行っている場面

## 児童生徒の反応や変容

- ・クラス全員に対してスピーチをするということに抵抗を感じる生徒もいたが、スライドを用いることで画像を示しながら英語で伝えることができたので、英語が苦手な生徒もしっかりとスピーチができていた。
- ・インターネット上にあるたくさんの情報から、有益で信頼できる情報を選択して、探究していくことの大切さを意識することができていた。
- ・英語を書くことが苦手な生徒も翻訳ソフトなどを活用し、意欲的に取り組むことができていた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・1人1台タブレットPCを活用してGoogle スライドを使うことで、生徒一人ひとりの個性を発揮して発表し、視覚的情報も加えることで全員が内容を理解できていた。
- ・話し手としては、既習の表現を使って発表することで、英語を使えているという実感がわき、聞き手としては、プロジェクターでスライドを見ながら発表を聞くことで、英語が苦手な生徒も理解することができ、学ぶ意欲の向上につながることができた。